

ホームページリニューアル業務委託プロポーザル実施結果

ホームページリニューアル業務委託プロポーザル審査委員会を設置し、審査を行った結果、技術的に最適な者（以下、「最優秀者」という。）として、稲沢シーエーティーヴィ株式会社を選定した。

1. 審査結果

最優秀者	商号または名称	稲沢シーエーティーヴィ株式会社
	代表者氏名	池戸 賢治
次点者	商号または名称	有限会社 エクサ
	代表者氏名	東田 欣也

2. 審査日程

項目	日程
実施要領等の公表（公告）	令和5年10月3日（火）
質疑受付	令和5年10月3日（火）～ 10月10日（火）
質疑回答	令和5年10月13日（金）
参加表明書等の提出期限	令和5年10月24日（火）
第一次審査（書類審査）	令和5年10月26日（木）
第一次審査結果の通知・公表	令和5年10月27日（金）
第二次審査（プレゼンテーション及びヒアリング）	令和5年11月2日（木）
結果発表（公表・通知）	令和5年11月10日（金）

3. 審査委員会

区分	職名	氏名
委員長	小牧市社会福祉協議会事務局長	澤木 厚司
委員	小牧市社会福祉協議会事務局次長	田中 秀治
委員	小牧市社会福祉協議会総務課長	岩田 奈穂美
委員	小牧市社会福祉協議会地域福祉課主幹	梶田 光俊
委員	ICT導入等調査検討プロジェクト・チーム 委員	尾崎 雅代

4. 評価基準

評価項目		評価の内容、視点	
第一次審査	参加資格	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページリニューアル業務委託プロポーザル実施要綱第3条に規定する条件を満たしているか。 	
	業務実績	<ul style="list-style-type: none"> ・類似業務の実績は豊富であるか。 	
	業務実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ・業務を円滑に実施できる計画になっているか。 ・業務を実施するうえで十分な体制であるか。 	
	業務工程	<ul style="list-style-type: none"> ・提案されたスケジュール案は仕様書で規定された期日になっているか。 ・各工程での受注者と社協の役割分担等について記載されているか。 	
第二次審査	リニューアル方針を実現するための方策	(1) より分かりやすいホームページ	<ul style="list-style-type: none"> ・トップページのデザイン構成は、社協の事業内容を的確かつ分かりやすく伝えることができる洗練でシンプルなデザインとなっているか。 ・閲覧者の誰もが目的の情報に容易にたどり着けることができるメニュー機能の実現が期待できるか。 ・災害等の緊急事態において、重要な情報やメッセージを即時に分かりやすく提供することが期待できるか。
		(2) ウェブアクセシビリティへの対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェブアクセシビリティに対する考え方や具体的な実現方法について提示されているか。
		(3) マルチデバイス対応	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が専用ページを別途作成することなく、スマートフォン等で閲覧しやすいページがデバイスに応じてホームページが最適化できる仕組みが構築されているか。
		(4) ホームページの運用管理の負担が少ないシステムの構築	<ul style="list-style-type: none"> ・ページ作成などの基本操作は、専門知識がなくても分かりやすいか。 ・コンテンツの管理等において職員の負担が少なくなるような提案がされているか。
		(5) 安全なシステムの構築	<ul style="list-style-type: none"> ・不正アクセス、情報の改ざん等のセキュリティリスクに対する対応は期待できるか。
	システムの保守管理に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・運用開始後のシステム保守管理の負担が少ないシステムを構築について提案されているか。 	
	追加提案事項	<ul style="list-style-type: none"> ・社協が要求している以外に有効な機能や取り組みなどの企画が提示されているか。 	

5. 審査経過

<一次審査>（令和5年10月26日）

応募者2者に対し、第一次審査を行った結果、2者すべてが参加資格を満たしていたため、2者を二次審査の出席要請者とする事と選定した。

<二次審査>（令和5年11月2日）

プレゼンテーションによる内容審査を行い、最適な事業者を選定するため、事業者ごとに委員が点数による評価を行い、最優秀者1名、次点者1名を特定した。

6. 総評および講評

本プロポーザルは、ホームページリニューアルを実施するにあたり技術的に最適な者を特定するための公募型プロポーザル方式により実施した。

審査委員会では、業務の要件に十分配慮されているかということについて、参加資格、業務実績、業務実施体制、業務工程、方針実現のための方策、保守管理、提案事項等7つの観点から審査を行い、以下のとおり講評することに至った。

○最優秀者（受付番号1番）

ウェブアクセシビリティについて利用者の利便性により応えられる内容となっており、メニューデザインなどにおいて優れた内容となっていた。

職員へのフォロー体制や各工程スケジュールに対する具体性に欠ける部分はあったが、バックアップ体制や保守管理の負担の少なさなどにおいても仕様に沿った内容となっており、審査委員による総合点において最優秀者と認められた。

○次点者（受付番号2番）

サーバーの提案や職員へのフォロー体制、多くの技術的な知識を有した優れた内容となっていたが、審査を行うにあたって、ページ構成や利用者の利便性についての具体的な説明の不足などがあり、審査委員による総合点において最優秀者に及ばず、次点者となった。